

介護  
特集



令和6年10月25日の道新に老老介護についての記事が掲載されました。おいらーくの居宅介護支援事業所ケアプラン銭函の菅原所長と小樽認知症の人を支える家族会会長であり、おいらーく顧問である源九会長がコメントを寄せています。

## 増える老老介護 強まる不安

食事介助を行いながら、妻の嘉江子さん(右)の手を握る川村嘉男さん。住み慣れた自宅です。限り長く暮らしたいと願っている



院選  
衆  
道4区

子も高齢化 負担大きく

小樽市の川村嘉男さん(79)は、妻の嘉江子さん(77)を5年前から自宅で介護している。夫婦2人暮らしで、嘉江子さんの状態は最も重い要介護5。アルツハイマー型認知症に加え、脳梗塞の後

増える老老介護

強まる負担

### 「家族支援、介護職の待遇改善を」

菅原所長コメント

遺症で失語症もあり、意思疎通を図るのは難しい。屋内外の移動には車いすが必要だ。

「お母さんの好きな煮物だよ」。今月中旬の昼食時、川村さんは手作りした食事を嘉江子さんのペースに合わせて、一口ずつスプーンで運んだ。口を開けなくなると手を握り、食べるよう促す。食事介助に1時間半から2時間ほどかかる。川村さんは「私が倒れたら、お母さんを施設に預けない」と不安を募らせる。

利用する介護サービスは訪問介護が1日4回、訪問看護は週1回、ショートステイは毎週金月曜の3泊4日。このほか、車いすや介護ベッドもレンタルし、利用料は月約10万円に上る。「家計の負担は重く、やりくりするしかない」。

訪問介護について、川村さんは着替えの介助などのため、早朝や夜間のヘルパーの訪問を希望する。嘉江子さんを担当する居宅介護支援事業所「ケアプラン銭函」の菅原智経管理責任者(56)は「ヘルパー不足で希望をかな

えられない」と頭を悩ませている。

急速に高齢化が進む小樽では今後、老老介護の増加が見込まれる。市の人口は9月末時点で、10万4986人と10年前と比べ2万554人減ったが、65歳以上の高齢者は4万3856人で767人の減少にとどまる。高齢化率は41・8%。道内の人口10万以上の都市で唯一4割を超える。

世帯数は、全体で6万510世帯と5471世帯減少。一方、単身の高齢者は1万8056世帯と1802世帯増え、全体で世帯の3割を占める。高齢夫婦のみも8825世帯と増加した。

老老介護の負担は親子間にも重くのしかかる。市内の池田光恵さん(72)は夫とともに、市内で1人で暮らす要介護2の母(96)を介護する。母はデイサービスを週3回と、介護保険制度で市が行う配食サービスを週1回利用する。

池田さんは週3回、安否確認を兼ねて食事を差し入れている。「配食サービス」の利用回数が増えたら、介護者の負担は軽くなるのに」と漏らす。

今回の衆院選で、介護を取り巻く課題について、自民党は介護サービスの提供体制の整備、立憲民主党は介護サービスの質と量の充実、共産党は民間では介護事業が成り立たない地域での公費による事業所や施設の経営を訴える。いずれの党も、介護人材確保に向けた介護職員の処遇改善も掲げている。

介護保険制度は2000年に導入され、家族が担ってきた介護を社会全体で担う「社会化」を目指す。25年には団塊の世代が75歳以上となり、介護サービス利用者は急速に増える見通しだ。

川村さんと池田さんの介護相談に応じる、小樽認知症の人を支える家族会の源九美津枝会長(81)は懸念する。「家族がいなければ在宅介護は難しく、高齢化に伴い介護者の負担は重くなっている。家族の支援を充実し、介護現場で働く人も増やさなければ、介護体制は崩壊してしまう」(熊谷知喜)

源九会長コメント

“おいらーく配食事業部”

イベント食

いつもとは違う特別なメニューを一部ご紹介！

CoCo 東雁来式番館



勤労感謝の日、CoCo 東雁来式番館はいなり寿司・赤飯・天ぶらの盛り合わせ・羊羹と温かい蕎麦にしました。久しぶりの行事食で、ボリューム満点でしたが、完食がほとんどでとても皆さまよろこんでいました。昼食にしたことで職員にも喜んでいただいたので良かったです。(三味)

CoCo 元町式番館



Coco 元町式番館、勤労感謝の日のイベント食です。勤労感謝の日には新米のもち米でお赤飯を炊くという昔からのお話があります(新嘗祭ニイナメサイ) 不自由なく食べられることに感謝を持つ日働くことを通して生産されるものに感謝する日食べている物、持っている物は作ってくれる人がいるから手に入れられているとても心に残った言葉なので引用してみました。(山下)

うらら伏古



献立は赤飯、すまし汁、天ぶら、酢の物。久しぶりの行事食になりました。入居者様からも美味しかったとの声を頂けて、厨房職員一同も満足しています。急なメニュー変更にも快く応じて頂いた施設の方にも感謝いたします。(大沼)

CoCo 東雁来壱番館



献立は赤飯・そうめん汁・煮物・天ぶらと季節の果物の柿です。壱番館 16 周年のお祝いもかねて…月初色々あり、出来なかったので行事食を実施しました。(四宮)

おいらーくの保育所「ドリーム」との  
初☆コラボ企画！

# 「パン作り交流会」

ついに10月28日(月) 保育園の子供たちがエルパサにやってきました♪ドキドキ・ワクワクの半日が始まりです。事前準備でハロウィンの時期ということもあり、装飾や園児たちとの写真スポットなどにも力を入れて準備万端。7名の子供たちは緊張しながらも元氣よく登場。エルパサ利用者さんはそわそわしています…♡

早速エプロンとバンダナを身に着けた子供たちはパン作りを始めます。エルパサの利用者さん数名も混ざり、子供たちの助っ人で一緒に捏ねていきます。利用者さんは子供たちの足りないところを補うようにうまく介入し、無事にみんな1次発酵へ入っていきます。形成では具材をウインナー・チーズ・甘納豆を準備して子供たちには好きに作ってもらおうと…一緒に具材を混ぜる子、教えてもらった通りに作る子、大きなパンを作る子などさまざまな発想と個性で作っていきます。

1次発酵と2次発酵の空いた時間はお遊戯とゲームをしています。お遊戯はデイズニー体操とあげあげドーナツを元氣いっぱい踊って見せてくれました。利用者さんからの拍手は止まらず、終わっても席を離れる方はいらっしやいません。退場は利用者さんの間を通してハイタッチ♪子供たちの動作一つひとつが利用者さんのハートを掴み、たくさん笑顔が咲きました♡

楽しい時間ほど経つのはあつと言う間です。昼食時間になり子供たちは焼きたてパンを特別に食べて帰ります。焼きあがったパンに興奮する姿や美味しそうにパンを頬張る姿など企画してよかったですと思った瞬間でした。

また利用者さんは「ひ孫と一緒にパン作りをした気分を味わえて、とても幸せ」や「子供たちの元氣な姿を見てパワーをもらった。また会いたい」と生きいきとした表情で話してください、エルパサ内はほっこり温かい雰囲気です。交流会を終えることができました。

エルパサはコロナ大流行の時期にオープンし5年目を迎えています。今まではコロナ感染症の流行を懸念し行事などの企画はしていませんでしたが、これを機に交流会や以前1度だけ来ていただいた「おしるこキッチンカー」など少しずつ企画・実行していけたらと思います。保育園の先生からは「来年も是非」と言っていたので、来年からも恒例行事としてお願いしていきます！(松坂)



エルパサお手製のバンダナと巾着をみんなにプレゼントしました！

エルパサをハロウィン仕様に！喜んでもらえるかな？



園児たちのお遊戯にはとっても癒されました！

## 交流会を終えて…ドリーム保育所から 沢山のお声をいただきました！

親御さんから「朝は緊張で保育園行きたくないと言っていた子供が帰ってきてから楽しそうに報告してくれ、行って良かったと話してくれた」とのこと！

粉から捏ねてパンを作れたことに感動！

先生たちも楽しかった！



# 行事報告

## 冬のスペシャル。パン教室



てんやわんや本町には、大きな発酵器とオーブンを設置されており、そこで毎日、利用者様がパン作りをされています。材料を計量し、小麦粉を捏ね、発酵させ、形を作って、卵をぬり焼き上げます。準備から、洗い物等の後片付けまで、全てやって頂いています。ただ、「もう少し凝った物を作ってみたい」「お店で売っている様なパンを持ち帰って、孫に食べさせたい」「娘のもつと驚く顔が見たい」等、様々な声も聞かれました。

その様な声を受け、パン屋で働いた経験がある職員が先頭に立ち、スペシャルパン教室を企画しました。通常のパン教室より、工程が複雑で、時間も掛かりますが、「紅茶パン」「くるみパン」「バターボルガ」の3種類の美味しいパンが出来るというものです。スペシャルという事で、参加人数も一日5人と限定されています。予約の段階から、中々の人気で、一気に締め切りとなりました。11月11日から16日の一週間の期間限定での実施となりましたが、結果は大成功。「こんなに美味しそうなパンが出来るとは思わなかった」「ワシもまだまだいける」「これで孫が驚く顔が見られるわ」等、思った以上の成果となりました。



お店で売ってるような、ワンランク上のパンが完成!

## 〈次世代型デイトレセンター Lpasa〉

### 自画自賛 Lエルパサの良さをご紹介します

エルパサがオープンしてから今年の9月で4年が経ちました。群馬県にある日高デイトレの見学・研修を思い出します。当時、その規模の大きさには驚かされました。利用者さんが自由に活動している姿は、まるでジムのような雰囲気でした。その後、エルパサも利用者さんが着実に増え、現在では定員120名の大所帯となっています。

そこで感じたことがあります。おいらーくで展開しているデイスーパービスにおいては、夢のみずうみ村の創設者である藤原茂先生の理念に基づき、個別を重視することを大切にしています。1日100名以上の利用者さんがいらしても、一人一人に目を向けて「出来る事」「やりたいこと」「役割」を見つけてるようにしています。その成果として、片麻痺の男性利用者さんが片麻痺でもできる組みひもづくりをエルパサで習得しました。その噂を聞きつけた地域サロン担当者から新規サロンのこけら落としとして講師として招かれるという素晴らしい結果が見られました。さらに、おいらーくの研究発表会でこの成果を発表したところ、何と最優秀賞に選ばれました。これは日頃の努力の賜物だと思えます。その他の取り組みでは、他の事業所で行っている人気プログラムである「外出行事」はこの規模では現実的に難しく、そこでスタッフは考え「こちらからいけないのであれば、来てもらえば良い」との発想となりました。今年は、別の記事に記載されているおもしろこのキッチンカーを呼んだり、保育園のお子様との交流など、様々なイベントを行いました。

DTの取り組みも順調に進んでおり、12月のクリスマスに向けて利用者さんとスタッフの手形でクリスマスツリーを作成しています。このように、多くの利用者さんがいる中でも、個別を重視する素晴らしい施設だということをお知らせしました。すると、ある方から「自画自賛だね(笑)」と言われてしまいました。それは、それでも私は利用者さんへの思いやりを持ち、発想力に富んだスタッフの努力。エルパサが素晴らしい施設であることを誇りに思っています。(柴田)



作成中の手形ツリーです ※まだ完成していないのでイメージ図です

## 〈Coco輝楽〉

### 銭函ハロウィン

10月27日(日)に毎年恒例の桂岡町内会の子供達が仮装し、やってきました。子供達はかわいらしい仮装をし、大人たちはちよつぱり怖いかなど感じる方もいましたが、今年はサポートユアライフ職員が猫の仮装をしお菓子を配ってくれました。入居者様は窓越しに参加し楽しまれました。(金森)



可愛い仮装で沢山の子ども達が参加してくれました!



# 朝礼でのステキなお話 特集



## 「今、やりたいこと実現」計画実施中！

えくぼの事業所目標として『今、やりたいこと実現』を掲げています。今期も利用者様に何をしたいのか伺いました。ラーメンを食べたいと話された方に対してはラーメンツアーを組み行ってきました。いつもは食が細い方が全部食べ、「また行きたい、今度は醤油ラーメンにするわ」と話されました。また、別の方はカラオケに行きたいと希望されました。この方は歌が大好きでカラオケBOXに着くとすぐにマイクを握り、熱唱され、職員ともデュエットもされ大変満足した様子で戻られ、ご家族にも報告されていました。

えくぼではその他にも居酒屋（風雲児）やスイーツ作り（スイートポテト）、パンが食べたいと話された方はパン屋へ行きました。（パン屋に着いて食べたのはソフトクリームでしたが…）また、昨年からパークゴルフも継続して今年も行くことが出来ました。運動会は毎年の恒例行事となりました。今年も皆様大変喜ばれておりました。えくぼではこれからも『今、したい事、行きたい所』を実現するために利用者様に寄り添った支援をしていきたいと思っております。（えくぼ・鶴木）



やりたいこと、**どんどん**  
叶えていきましょう！

## 勇気を出して挑戦することが新たな未来につながります！

今回はプライベートのお話をさせていただきます。車屋さんが企画するツーリングが年2回あり、休みが合えば参加しています。（私はペーパードライバーで助手席にいるだけです）50台近く集まり、参加する方たちは本当に車が好きで、車の写真や動画を撮り、自慢話？をしたり、私は見ているだけで、楽しい気持ちになります。雪が降る前に、参加できる人たちがツーリングをしないかと、お誘いがありました。小規模で集合場所も滝野霊園と遠くもなかったのですが、親しい人もいなかったの、興味はありつつ、当日まで参加するかどうか迷っていました。主人も初心者で、集合場所に向かう途中も、どうする？と言いながらでした（笑）9台の車が集まりました。自己紹介で、名前が同じ方がいて、お互いにびっくり！その方が、とても積極的です。もしかして旧姓が同じ？年齢は？仕事は？と次々に質問が。旧姓は一字違い、年齢は私が3つ上、仕事は福祉関係でした。今まで同じ名前の方と会ったことがなかったので、親しみがわきました。まゆか姉さんと呼ばれ、ちよつと恥ずかしかったです。

函館の方で、メールのやり取りが続いています。この年齢になり、新たに友人ができるとは思いませんでした。小学校の時の先生に「石橋を叩いても渡らない」と言われたほど慎重です。勇気を出して、一歩踏み出すと素敵なことが待っている、挑戦は大事と思う出来事でした。（つらら・小林）



モアイ像が並ぶ滝野霊園へ  
ツーリング！



## 料理教室に向けて…試行錯誤&意気込み！

7月にエルパサから異動し、初めての料理教室を12月に行う事になりました。エルパサでは携わった事がない業務に正直戸惑い気味でしたが、職員の指導の下、皆様に色々アドバイスを頂きながら進めています。利用者様は普段から料理をされて得意な方ばかりでしょうが、料理教室では、片麻痺の方や不得意な方でも美味しく作れる工程でご自宅で実践出来るメニューを考え、試行錯誤していました。

私には中学2年生の息子がいて料理は少々苦手な子なので、利用者様に見立てて一緒に試作を行えば良いと思います。

しかし先日手首に帯状疱疹が出来てしまったので試作は出来なくなりました。何でも「おいしい」と言ってくれるので参考にはならないのですが料理教室をきっかけに親子の関係も良好になっていきます。料理教室のメニュー決めもクリスマスに合わせ甘いお菓子に決めました。

本町に異動になり、活動全てが生活リハビリであることがより一層意識づけするように指導して頂いて、料理教室も同じであることも教わりました。利用者様と楽しみながら料理教室を成功させたいと思えます。（てんや本町・羽田）



料理教室頑張ります！



研修会などで学んだ  
有益な情報をご紹介します!

# 朋ちゃんコラム

第6回

欲しいものがあればポチッと選べば自宅に届く時代。買物も便利になりましたね。でも朝早い時間に足りないものがあると助かるのがコンビニですね。あらゆるコンビニに行きますが、私がよくお世話になっているのが「セコマ」です。今日はセコマの話をしたいと思います。

以前にセコマの丸谷会長のお話を伺う機会がありました。会長は経済、物流、農業、ワイン等々、ありとあらゆる事柄について大変詳しく、分かりやすくお話しくださいました。中でも、自社「セコマ」については愛情いっぱいにお話されました。セイコーマートは全道179市町村の内、174市町村に出店。(セコマグループ全体では175市町村) 過疎化が進む中、地域の買物物の拠点になっている店舗は数知れず。地域を支える重要な役割を果たしています。地域の売れ筋や希望を聞いて、必要な品揃えをしたり、その地域に合った営業時間に調整したり、どの店舗も暮らしている方に寄り添って考えられているのです。特に印象に残ったのは、胆振東部地震の教訓を活かして、停電時は車から電源を取れるように、インバーターという装置をセイコーマート全ての店舗に備え付けたという話です。災害はいっつき起きるかわかりません。起きた災害からいっつき学び、実践されている姿に感動しました。私たちも地域に根ざすという意味を改めて考え、皆が支え合えるような関係になっていきたいと感じました。

大好きなコンビニばかりで買い物していると我が家の経済も圧迫されてしまいます。買い物は計画的にしっかりと自炊もします!!と言いたい所ですが、料理に慣れていないと、レシピ通りの材料集めから始まり、結果果高上りになりがちです。さて、今日のご飯は何にしようかな。うーん…。今日のところはセコマのカツ丼にしておくか。

向きに…(小林)

北海道におけるセイコーマートの  
人口カバー率



第110弾

## ドラムす子でバチ当たり人間のよもやま話



9月北海道乙部町で国の絶滅危惧種である野鳥のハヤブサ1羽が死んでいるのが見つかり遺伝子検査の結果、高病原性鳥インフルエンザウイルスが検出された。野鳥の感染としては国内で今季初の事だった。これを皮切りに10月標茶町で1羽、清里町で1羽の国の特別天然記念物タンチョウの死骸からそれぞれ同ウイルスが検出される。11月札幌円山動物園内で回収されたハシブトガラス1羽の死骸から同ウイルス検出。感染防止のため観覧制限が行われている。他の事例を数えると9月以降の道内の野鳥の感染確認としてはこれで14例目となる。(この記事が掲載されるころその数はさらに増えているだろう)

一方10月北海道厚真町の養鶏場で死んだニワトリから高病原性鳥インフルエンザウイルスが検出され、飼育されていた食用の1万9千羽のニワトリが処分された。これも国内としては今季初の養鶏場における感染確認であった。例年になく早い発生であるという。

そして11月旭川の養鶏場でも同ウイルスを検出し、採卵用のニワトリ4万4千羽が処分されている。養鶏場としては今季2例目である。幸いタマゴの供給に影響はないようだ。昨年スーパーの店頭からタマゴが消え困惑したことは記憶に新しい。農水省によると養鶏場における鳥インフルエンザは厚真町で確認されて以降各地で発生し計10事例。過去最悪に匹敵するペースで発生しているという。(こちらも増えるだろう) ウイルスはシベリアなどからの渡り鳥によって運ばれる。北海道にはハクチョウ・ガン・カモなどが多くが飛来するが今季の渡り鳥はウイルスの感染率が高いのだろうか。野鳥感染も養鶏場感染も北海道での発生が最初だった。渡り鳥から野鳥や動物へ、野鳥や動物からニワトリへという経緯で養鶏場の感染リスクが高まる。鳥インフルエンザはニワトリだけではなく家畜類のブタやウシやウマにも感染する。そしてそれらと密に接するヒトにも。

我々が毎年接種するインフルエンザワクチン。ヒトインフルエンザも元をたどれば水鳥が元来持っている鳥インフルエンザウイルスが遺伝子変異して人間に感染するようになったものと考えられている。世界保健機関(WHO)によると、鳥インフルエンザのヒト感染事例は2003年以降アジアやアフリカを中心に9百件あまり確認されている。うち半数近くが死亡している。

現時点では鳥インフルエンザがヒトからヒトへ感染していることを示す兆候は見られないが、感染者の多いなかウイルスが変異することで今後ヒトヒト感染が発生する可能性は否定できないと言われている。また鳥インフルエンザの重症度が高まる危険性についても指摘されている。

鳥インフルエンザの宿主である水鳥は通常このウイルスを体内に保有しているが、感染していても発症することはほぼないのだそう。特殊な免疫システムがあるのだろう。であればその能力を頂くことにしよう。今夜はカモ鍋だ、ついでにネギをしょってきてもらおう…とほほ。(蓮川)



# 人間万事塞翁が馬

COCO東雁来利用のーさんは、生年月日昭和15年4月15日(84歳)R4年10月より入居で昭和15年に札幌の山鼻地区で生まれました。中島公園の南側、屯田通りの商店街で桶屋を営む家だったそうです。男5、女5の10人兄弟の7番目で、一番上のお兄さんは15歳違い。兄弟に面倒を見てもらいながら、かけっこ、パッチ、かくれんぼなどで遊びながら過ごしました。

小学校中学校とも遠く、新しい学校が出来たまでは、歩いて40分くらいかけて通っていたそうです。商店街の果物屋さんの娘さんと小学校担任が結婚したのが思い出とのこと。中学生の時、クラスメイトに好きな人ができたけど、一言も話さなかった、クラス会の時も声を掛けなかったと、奥手なーさん。高校へは新学せず、近所の医院で見習いとして働きます。

しかし薄給のため、クリーニング会社に転職を決意。お友達と一緒に働きながら、中島公園に夕涼みに行った16歳の夏、ボートに乗った男性にナンパされます。一緒にボートに乗り、楽しい時間を過ごした相手は、後に

ご主人となる方、網走の郵便局に勤めるその方は、たまたま札幌に来ていたのです。その後文通を3年、4回の会う機会を経て、結納をもつてきたその方と一緒に、網走行きを決意をする(親御さんが決めてしまったという話も)ーさん、網走の地で息子さんを授かるも、札幌に転居する直前にご病気で他界。札幌に戻ってから、更に3人の息子さんをもうけます。

定年後、ご主人は湯治として近くの温泉に行くことが多くなり、さらっと胸痛を訴えます。軽くお話されるものだから、ーさんも軽い気持ちで聞いていましたが、ある時より咳が止まらなくなり、病院に行くも、末期の肺がん。65歳の若さで亡くなりました。ご主人との思い出を伺いました。若いときは小樽、函館、稚内などの道内旅行、57歳で退職後は、九州、本州、東北などの旅行に行った事が多かったとお話してくださいました。

成人し、立派になった息子さんたちのお話を嬉しそうに話してくれたーさんが印象的でした。これからしたいことを伺うと、「今までいろいろやってきた。のんびり暮らしている今がいい」との事。デイサービスに通いながら、いつまでもお元気でいて下さいね。

好きな曲は…

「勝手にしやがれ」沢田研二

どこのチャンネルを回しても沢田研二が出ていた時代。大好きでよく見ていたが、あんまり見るのでご主人が嫉妬してしまっただけの思い出。

似顔絵作: 松田 郁美

札幌生まれ  
1さん  
2024.11 現在  
84歳

## 懐かしい思い出の写真

NO.1




新コーナーのトップを飾らせて頂くことになりました。たてんやわんや新道の今田です。過去の写真を振り返ってみると懐かしく思う反面、自分の歴史のひとつかなと少し恥ずかしく思います(笑)。この写真は今から16〜17年前位の新年会で年齢でいうと23歳頃と記憶しています。当時は各事業所が必ず余興を行うというルールがあり、その頃大流行していた小島よしおの「そんなの関係ねえ」を生きがいサロン元町(現てんやわんや本町)を代表して披露致しました。写真にありますように、ベストパフォーマンス賞という名誉ある賞を代表から頂き、観客席からはチップを挟んで頂くという、今ではコンプライアンスに違反してしまいそうですがとても楽しい時代でした。

時代の変化と共に今では人前で裸芸を披露するには耐えにくいほど体重が増加してしまい、写真から20kg程増えてしまいました(増加分は脂肪では無く宝物と呼んでいます)その宝物を捨てるには名残惜しいですが、来年は節目の勤続20年の表彰があるため、また皆様の前で裸芸を披露できるように今日からダイエットに励み、また数十年後に懐かしい思い出で写真コーナーに登場させて頂けましたら幸いです!(今田)





# 11月行事内容と12月行事予定

令和6年12月行事予定		令和6年11月行事内容とイベント風景	
令和6年 12月行事予定	せんり	○クリスマス会	○誕生会 ○装飾作り 
	うらら伏古	○クリスマス会 ○年末行事 ○移動販売	○ハロウィン行事 
	えくぼ東雁来& ココ東雁来式番館	○金さん銀さん（訪問理容） ○果物訪問販売	○レク風景 ○勤労感謝の日特別メニュー 
	えくぼ元町& ココ元町	○クリスマス会	○誕生会 
	えくぼ元町式番館	○クリスマス会	○焼いも ○いももち作り ○運動会 ○外出レク 
	銭函お散歩カフェ	○7日・21日 趣味の会 ○10日 認知症カフェ ○24日 クリスマスコンサート ～二胡演奏会～	○2日・16日 趣味の会 ○30日 クリスマスリースづくり ※カフェのカニサボテンが満開です 
	ココ輝楽	○衣料販売(マルコシ) ○誕生会 ○クリスマス会 ○クリスマス演奏会	○避難訓練 ○桂岡幼稚園来訪 ○誕生会 

## 経営方針

『高齢者も障害者も住み慣れた地域で、安心して暮らせる地域づくり』を目指し、つねに『ご利用者様の立場にたった総合的な介護・福祉企業』のあるべき姿を探究し続けるオンリーワン企業を目指します。